





本書の見かた

この説明書はGoogle 搭載インフォテインメントシステムの取り扱いについて説明しています。ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役立てください。

- ◎ **本システムを安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。**
- ◎ **「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。**

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
システムを使用するときに守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などを以下のように表しています。

<スイッチ>	コントロールパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを < > で表します。
[メニュー]	画面上に表示されるメニューや項目を [] で表します。

- 車両取扱説明書と合わせてお読みください。
- 本書で使用しているイラストは、仕様によりお客さまの車両と異なります。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更やソフトウェア更新により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ 安全上のご注意. 4 ■ 基本的な使いかた. 11	■ サービス・機能一覧. 6 ■ はじめに設定しておきたいこと. 23	■ 各部の名称と機能. 8	ご使用前の確認と 設定	P.3
■ オーディオ・テレビの基本操作. 26 ■ Bluetooth®オーディオ・HDMIを使う. 33	■ ラジオを使う. 28 ■ テレビを見る. 35	■ USB・iPodを使う. 30	オーディオ	P.25
■ ハンズフリーフォンの基本操作. 40 ■ ハンズフリーフォンの設定をする. 43	■ 通話機能を使う. 41	■ ショートメッセージ (SMS) 機能を使う. 42	ハンズフリー フォン	P.39
■ MITSUBISHI CONNECT. 46	■ MITSUBISHI CONNECT を使う. 48	■ MITSUBISHI CONNECT を使いこなす. 49	MITSUBISHI CONNECT	P.45
■ アプリメニュー. 52 ■ Android Auto. 57	■ Google のアプリやサービス. 54 ■ ETC. 59	■ Apple CarPlay. 55	アプリ	P.51
■ 故障かな? と考える前に. 62	■ 知っておいていただきたいこと. 77		付録	P.61
			索引	P.61

MEMO

安全上のご注意

運転中のご注意	P.4
停車時のご注意	P.4
Google 搭載インフォテインメントシステムについてのご注意	P.4
安全運転のための機能	P.5

サービス・機能一覧

本機のできる機能	P.6
----------	-----

各部の名称と機能

タッチパネル	P.8
コントロールパネル	P.8
ステアリングスイッチ	P.9
USBポート	P.9

基本的な使いかた

メニュー画面について	P.11
すべての設定メニューについて	P.13
登録機器、Wi-Fiを設定する	P.16
音量を調整する	P.20
画面表示を調整する	P.20
時計を設定する	P.20
OTAソフトウェア自動更新	P.21

はじめに設定しておきたいこと

ユーザー登録	P.23
MITSUBISHI CONNECT ユーザーIDおよびパスワードの入力	P.23
Google アカウントの入力	P.23

安全上のご注意

本システムをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。これらは安全のために重要ですので、よくお読みのおえ、正しくお使いください。

運転中のご注意

⚠ 注意

- 操作または画面を注視する際は、必ず安全な場所に停車してください。
- 運転中にオーディオなどを使用するときは、車外の音が聞こえる音量でご利用ください。外部の音が聞こえない状態で運転すると、安全運転の妨げになります。

停車時のご注意

⚠ 警告

- エンジンを停止した状態での使用は12Vバッテリーあがりの原因となります。オーディオなどのご使用はエンジン作動中に行ってください。
屋内などの換気の悪いところで、エンジンを作動させたままにしないでください。車内や屋内に排気ガスが充満して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

Google 搭載インフォテイメントシステムについてのご注意

⚠ 警告


- 本体および接続機器を分解・改造・取り外しなどしないでください。感電・故障などの原因となります。
- 故障の原因となりますので、本体およびUSBメモリやHDMIなどの挿入口に異物を入れないでください。
- 画面が表示されない、音が出ないなど、異常が発生したときは使用を中止してください。お客さまご自身で修理を行わずに必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、Telematics Control Unitアンテナから約15cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。サービスご利用時などにTelematics Control Unitの電波が植込み型ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。医療電気機器製造業者などへ影響を確認してからご利用ください。

アドバイス

- ディスプレイの清掃は、車を安全な場所に停車して行ってください。

- ディスプレイの清掃は、システムの電源をOFFにして行ってください。電源がONのまま清掃すると誤操作の原因となります。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因となります。
- 低温時や高温時に一部の機能が動作しない場合があります。
- 本製品の故障、誤作動または不具合により本体に保存されなかった場合、データおよび消失したデータの補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。
- ETCユニットを改造すると電波法により罰せられることがあります。
- 本システムは、複数のアプリケーションやスイッチ操作を同時に処理しますが、それらによるシステムへの負荷のため、動作が遅くなったり、システムがフリーズしてしまう可能性があります。

コントロールパネルスイッチやステアリングスイッチ操作は、一つ一つゆっくりと行ってください。

システムの反応が遅い場合、少々お待ちいただくか、お待ちいただいても現象が解消しない場合は、コントロールパネルの<  /VOL >ダイヤルを約10秒以上長押ししてシステムを再起動してください。

アドバイス


- 本システムは、電源ポジションをONにした後、全てのアプリケーションが起動し使用可能になるまでに、約1分程度かかります。


ただし、以下の機能は操作可能です。

- ①オーディオのボリューム調整
- ②音楽再生

本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。

Model name: CCS2SBXQ

 R 201-240604

 T D 24 0099 201

電波法により5.2(W52)/5.3(W53)

GHz帯は屋内使用に限ります。

本製品の改造は禁止されています。(適合証明番号などが無効となります。)

安全運転のための機能

走行中に操作できない機能

安全に運転をしていただくために、走行中にできない操作は、メニューを選べなくなります。

また、文字/数字入力などの操作もできなくなります。

安全な場所に停車してから操作を行ってください。

画像表示制限

画像表示(テレビなどの動画)はパーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

本機でできる機能

本機にはオーディオ機能などに加えて、快適に運転できるように様々なサポート機能があります。
記載されている機能の有無、画面デザインなどは、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

	機能	概要	参照先
Google のアプリやサービス	Google アシスタント	音楽再生、目的地設定、通話など、さまざまな機能を声で操作できます。	➡ P.54
	Google マップ	ルート検索、周辺施設検索などのナビゲーション機能が使用できます。	➡ P.54
	Google Play	さまざまなアプリをダウンロードして、本機で使用できます。	➡ P.54
交通情報	ETC	ETCの各機能の確認や設定ができます。	➡ P.59
	ラジオ交通情報	AMラジオ局の交通情報を使用できます。	➡ P.29
オーディオ	ラジオ	AM、FMラジオをきくことができます。	➡ P.28
	USBオーディオ、iPod	お手持ちのiPod/iPhoneをケーブルで接続して、本機で操作しながら音楽を楽しむことができます。またUSBメモリに保存した音楽ファイルや映像ファイルも再生できます。	➡ P.30
	Bluetooth®オーディオ	Bluetooth®対応のオーディオと接続して、音楽を再生できます。	➡ P.33
	HDMI	HDMI機器を接続することで、外部機器の映像/音声を視聴することができます。	➡ P.33
	地上デジタルテレビ	フルセグ・ワンセグ自動切替、系列局サーチ機能により広範囲で地上デジタルテレビを受信します。	➡ P.35
ハンズフリーフォン	Bluetooth®ハンズフリーフォン機能	Bluetooth®対応の携帯電話を接続することにより、かばんやポケットに電話を入れたままでも通話できます。	➡ P.39
	ショートメッセージ (SMS) 機能	携帯電話のSMSを本機上で確認や送信ができます。	➡ P.42
スマートフォン連携 (Apple CarPlay、Android Auto™)		Apple CarPlay、Android Auto のナビゲーション機能、音楽再生機能、電話機能などを使用することができます。	➡ P.55 ➡ P.57

サービス・機能一覧

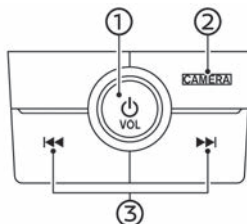
機能	概要	参照先
MITSUBISHI CONNECT	MITSUBISHI CONNECT とは、車両に搭載されている車載通信ユニット「Telematics Control Unit」と情報センターが通信することで、ドライブに便利な情報を提供するサービスです。	➡ P.46

各部の名称と機能

タッチパネル

本機では、画面タッチでさまざまな機能の操作や設定をします。

コントロールパネル



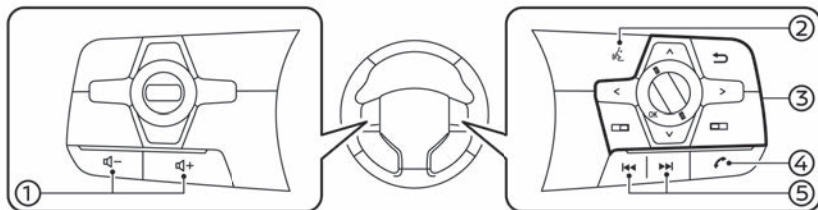
- ① **< ㊤ /VOL >ダイヤル**
押すことにオーディオをON/OFFします。
回すと音量を調整します。
オーディオがOFFのときに回すとONになります。
- ② **< CAMERA >ボタン**
駐車支援システムのカメラに関する画面を表示します。
詳細は車両取扱説明書をお読みください。
- ③ **< ◀▶ > / < ▶▶ >ボタン**
チャンネル送り、自動選局、曲変更などができます。長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。

知識

- 本機は車両の電源（電源ポジション）と連動してON/OFFします。電源ポジションの詳細は車両取扱説明書をお読みください。

各部の名称と機能

ステアリングスイッチ



- ① < > ボタン
音量を調整します。
- ② < > ボタン
Google アシスタントを起動します。
Apple CarPlayまたはAndroid Auto 操作時に長押しすると音声で操作ができます。
- ③ **メニュー操作スイッチ**
本機またはマルチインフォメーションディスプレイのメニュー操作をします。
➡ **メニュー操作スイッチの使いかた (P.9)**
マルチインフォメーションディスプレイの操作については車両取扱説明書をご覧ください。
- ④ < > ボタン
通話に応答したり終了したりします。
- ⑤ < > / < > ボタン
ラジオ／テレビの選局やiPodなどの選曲をします。
長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りができます。

知識

- 本機の機能に関するスイッチのみ説明しています。説明のないスイッチについては、車両取扱説明書をご覧ください。

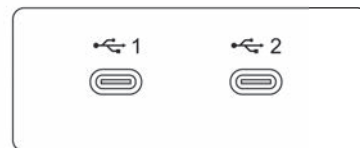
メニュー操作スイッチの使いかた

1. < > / < > を押して本機を選択
操作可能なエリアがフォーカス表示されます。
2. < > / < > / < > / < > ボタンでフォーカスエリアを移動
3. < > ダイヤルを回しフォーカスエリア内の項目を選択し、押して確定
画面によっては < > ボタンで一つ前の画面に戻ります。

知識

- フォーカス表示は時間が経つと消えるように設定できます。
➡ すべての設定メニューについて (P.13)

USBポート



USBメモリやiPod/iPhoneまたはAndroid™ スマートフォンを接続できません。

USBポートの取り付け位置については車両取扱説明書をご覧ください。

各部の名称と機能

注意

- USBデバイスを接続口に無理やり押し込まないでください。故障の原因になります。

基本的な使いかた

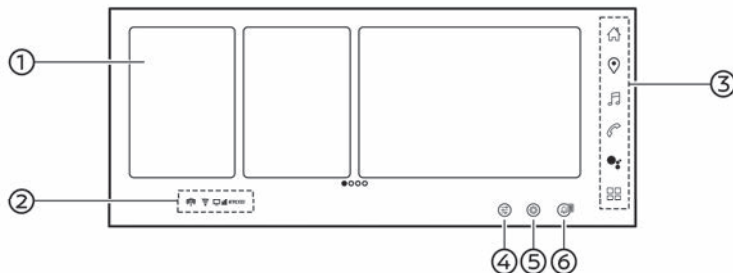
メニュー画面について

メニュー画面には、各機能の情報を表示したり、ショートカットとして遷移できるウィジェットが表示されます。

メニュー画面はお好みに応じて編集することができます。

👉 メニュー画面を編集する (P.12)


機能の有無、画面デザインなどは、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。



- ① **ウィジェット**
オーディオや電話など、よく見る情報を表示できます。項目によってはタッチすると操作画面を表示できます。
- ② **インジケーター**
各機能のインジケーターを表示します。
- ③ **ランチャーメニュー**
画面右側に表示され、各機能の画面に移動することができます。


アイコン	機能・操作説明
[🏠]	メニュー画面を表示します。
[📍]	Google マップを表示します。 👉 <u>Google マップ (P.54)</u>
[🎵]	オーディオ画面を表示します。 👉 <u>オーディオ画面を表示する (P.27)</u>
[📞]	ハンズフリーフォン操作画面を表示します。 👉 <u>ハンズフリーフォンの操作画面 (P.40)</u>
[🗣️]	Google アシスタントを起動します。 👉 <u>Google アシスタント (P.54)</u>
[📦]	アプリメニュー画面を表示します。 👉 <u>アプリメニューを使う (P.52)</u>

- ④ [🔧]
クイック設定画面を表示します。サウンドや画面の設定、Wi-Fiスポットや交通情報のON/OFF、ユーザーの切り替えなどができます。
- ⑤ [⚙️]
すべての設定メニューを表示します。
👉 すべての設定メニューについて (P.13)

- ⑥  通知メニューを表示します。不在着信やソフトウェア更新などの通知のリストが表示されます。

メニュー画面を編集する

ウィジェットを長押しすると、メニュー編集画面を表示します。

- ウィジェットをドラッグして位置の変更ができます。
- [×]をタッチして、ウィジェットを削除します。[×]が表示されないものは削除できません。
-  をタッチして、ウィジェットのサイズを変更します。
- [追加]をタッチして、ウィジェットを追加します。
- [自動整列]をタッチして、ウィジェットを自動整列します。
- [保存]をタッチして編集した設定を保存します。

すべての設定メニューについて

ランチャーメニューの[設定]→[設定]をタッチ

すべての設定メニュー画面を表示します。

設定項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目		機能・操作説明
[機器接続]		接続機器、Wi-Fiなどの接続画面を表示します。 👉 <u>登録機器、Wi-Fiを設定する (P.16)</u>
[電話]		電話設定画面を表示します。 👉 <u>ハンズフリーフォンの設定をする (P.43)</u>
[一般]	[サウンド調整]	音質・音量の調整、操作音や安全運転メッセージのON/OFFなどの設定をします。
	[時計]	時計設定画面を表示します。 👉 <u>時計を設定する (P.20)</u>
	[システム]	システム設定画面を表示します。 👉 <u>システム設定 (P.15)</u>
	[ストレージ]	システム、オーディオ、アプリなどのストレージ容量を確認できます。
	[位置情報]	位置情報サービスの設定をします。 位置情報の使用が許可されていない場合、時計は正しく表示されません。
	[ステアリングスイッチ]	ステアリングスイッチ操作のフォーカス表示を時間経過により消すかを設定します。
[画面設定]		画面表示をOFFにしたり、画面の明るさを調整できます。 👉 <u>画面表示を調整する (P.20)</u>
[車両]		車両機能の設定画面を表示します。 車両取扱説明書をお読みください。
[ユーザー]		ユーザープロファイルの切り替え・追加・編集ができます。

基本的な使いかた


	項目	機能・操作説明
[カスタマイズメニュー]	[ホームメニュー]	メニューの編集画面を表示します。 👉 メニュー画面を編集する (P12)
	[アプリメニュー編集]	アプリメニューの表示順を入れ替えるなどの編集ができます。
	[オーディオソース]	オーディオのSourceメニュー画面の表示順を入れ替えるなどの編集ができます。
	[お気に入り]	お気に入りの連絡先の表示順の入れ替えができます。
[アプリと通知]	[アプリ情報]	ストレージを管理するためのアプリ情報画面を表示します。
	[デフォルトのアプリ]	各機能のデフォルトアプリを選択します。
	[アプリの権限]	位置情報、電話機能などの使用許可をアプリごとに設定できます。
	[特別なアプリアクセス]	アプリへのさまざまなアクセス許可を設定できます。
	[スマートフォン接続設定]	機器接続画面を表示したり、Apple CarPlayやAndroid Auto の補足情報を表示します。 Apple CarPlayまたはAndroid Auto が接続されているときのみ表示されます。
[MITSUBISHI CONNECT サービス]	MITSUBISHI CONNECT の設定画面を表示します。	
[プライバシー]	プライバシー関連のアクセス管理や権限の確認ができます。	
[セキュリティ]	画面ロックの方法の設定ができます。 ユーザーログインしていないときは表示されません。	
[Google]	Google 関連の設定ができます。	
[アクセシビリティ]	字幕のサイズやスタイルなどを設定できます。	

システム設定

ランチャーメニューの[]→[]→[一般]→[システム]をタッチ



システム設定画面を表示します。

設定項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目		機能・操作説明
[言語と入力]	[言語]	本機の設定言語を切り替えます。
	[自動入力サービス]	アカウント情報などの自動入力を設定します。
	[キーボード]	キーボードの設定を切り替えます。
[システム更新]	[バージョン情報]	本システムのバージョン情報を確認できます。
	[ソフトウェア更新]	ソフトウェアの更新をしたり、ソフトウェア更新の設定をします。  OTAソフトウェア自動更新 (P.21)
[Androidについて]		本システムのAndroidの情報を確認できます。
[法的情報]	[Google利用規約]	Googleの利用規約を表示します。
	[システムのWebViewライセンス]	システムのWebViewライセンスを表示します。
	[サードパーティライセンス]	サードパーティのライセンスを表示します。
[リセットオプション]	[アプリの設定をリセット]	アプリの設定をリセットします。
	[ネットワークをリセット]	すべてのネットワーク設定をリセットします。管理者として登録されたユーザーだけが実行できます。
	[全データを消去(出荷時リセット)]	各種設定を工場出荷状態に戻します。管理者として登録されたユーザーだけが実行できます。
[ローカルのシステムアップデート]		接続されたデバイスにアクセスし、写真やメディアなどを更新します。
[Android Auto]		Android Autoの情報を表示します。

登録機器、Wi-Fiを設定する

本機に接続しているBluetooth®機器、Wi-Fiなどの登録・切り替えをします。

ランチャーメニューの[]→[]→[機器接続]をタッチ

項目を選び、各機器接続画面を表示します。

- [登録機器]

- ➡ [登録機器画面について \(P.17\)](#)

- [Wi-Fi]

- ➡ [Wi-Fi画面について \(P.19\)](#)

- [Wi-Fiスポット]

- ➡ [Wi-Fiスポット画面について \(P.19\)](#)

- [ヘルプ]

- ➡ [ヘルプ接続画面について \(P.19\)](#)

登録機器画面について

オーディオやハンズフリーフォンで使用する携帯電話や登録機器の登録情報を表示します。

ランチャーメニューの[設定]→[Bluetooth]→[機器接続]→[登録機器]をタッチ

設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明
[登録]		Bluetooth®機器を本機に登録します。 携帯電話またはBluetooth®機器のBluetooth®設定でデバイス検索し、「MY_CAR」を選択します。 設定する機種によって、パスキー入力が必要です。
デバイス名		現在接続されている登録機器のデバイス名をリスト表示します。タッチして使用するデバイスを切り替えます。
[○○○]	[削除する]	登録したBluetooth®またはUSB接続機器を消去します。
	[ハンズフリー通話]	ハンズフリー通話をON/OFFします。
	[Bluetoothオーディオ]	Bluetooth®オーディオとしての使用をON/OFFします。
	[Apple CarPlay]	Apple CarPlayの接続/非接続を切り替えます。
	[Android Auto]	Android Auto の接続/非接続を切り替えます。
	[Apple CarPlay利用時の補足情報]	Apple CarPlay利用時の補足情報を表示します。
	[Android Auto利用時の補足情報]	Android Auto 利用時の補足情報を表示します。

アドバイス

- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールを剥がさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

知識

- 登録機器台数が上限に達している場合、既に登録されている機器を1台削除してから登録を行ってください。
➡ 登録機器画面について (P.17)
- 初期登録後は電源ポジションをONにすると自動的に接続されます。
- 携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照してください。また適応するBluetooth®携帯電話は三菱自動車販売会社にお問い合わせいただくか、『デリカミニ』車種サイトからご確認ください。
- 入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選びパスキーを変更してください。
- Bluetooth®オーディオは、機器により登録方法が異なる場合があります。詳しくは、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をお読みください。

- Apple CarPlayまたはAndroid Auto が接続されているときは、Bluetooth®機器の登録はできません。Apple CarPlayまたはAndroid Auto の接続を解除してから操作してください。

■ 登録機器の設定 (携帯電話)

登録機器画面上部の[]をタッチ



設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[Bluetooth]	Bluetooth®をON/OFFします。Bluetooth®接続を利用するときはONに切り替えてください。
[デバイス名]	車載機のデバイス名称を変更します。



基本的な使いかた

Wi-Fi画面について

本機は、自車位置周辺の利用可能なWi-Fiネットワークまたはスマートフォンのデザリング機能などを使用してWi-Fiに接続できます。Wi-Fiに接続することで、システムソフトウェアなどの更新、その他オンラインサービスを利用できます。



ランチャーメニューの→→**【機器接続】**→**【Wi-Fi】**をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[Wi-Fi]	Wi-Fi接続ON/OFFを切り替えます。
Wi-Fi接続先デバイス名	利用可能なWi-Fiデバイス名を選んでWi-Fi接続します。  : パスワードが必要です。  : 電波の受信状態を表します。
[○○○]	Wi-Fi情報を表示します。 [Wi-Fi自動接続]をONにすると、2回目以降は利用可能なネットワークに自動接続します。 [削除]をタッチすると、Wi-Fiの接続設定を削除します。

Wi-Fiスポット画面について

本機がWi-Fiスポットとなり、周辺機器をWi-Fi接続することができます。


ランチャーメニューの→→**【機器接続】**→**【Wi-Fiスポット】**をタッチ

設定項目を選びます。



項目	機能・操作説明
[Wi-Fiスポット]	Wi-Fiスポット接続のON/OFFを設定します。Wi-Fiスポット接続を利用するときはONに切り替えてください。
Wi-Fiスポット情報	接続に必要な情報や、接続している周辺機器の数が表示されます。 [Wi-Fiスポット]がONのとき、表示される二次元コードをスキャンすると、周辺機器をWi-Fi接続することができます。

知識

- [Wi-Fiスポット]を使用するには MITSUBISHI CONNECTの docomo in Car Connect★への登録が必要です。
詳しくはdocomo in Car Connectのお申し込みサイト <https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/>をご覧ください。

- Wi-Fiスポット画面上部のをタッチするとネットワーク名 (SSID) とパスワードが表示されます。SSIDとパスワードはタッチして変更することもできます。

ヘルプ接続画面について

ランチャーメニューの→→**【機器接続】**→**【ヘルプ】**をタッチ

機器接続についての補足情報を確認することができます。

基本的な使いかた

音量を調整する

機能ごとに音量が設定できます。

ランチャーメニューの[]→[]→[一般]→[サウンド調整]→[音量]をタッチ
設定項目横の[+]または [-]をタッチして調整します。

項目	機能・操作説明
[メディア音量]	オーディオ、テレビの音量を調整します。
[ガイド音量]	音声ガイドの音量を調整します。
[着信音量]	電話の着信音量を調整します。
[通話音量]	電話の通話音量を調整します。
[音声操作音量]	音声操作の音量を調整します。

知識

- 各項目の音量は、その音が出ているときにコントロールパネルの < /VOL > ダイヤルまたはステアリングスイッチの < > ボタンでも調整できます。
調整時は、調整する音量の種類をアイコンで、現在の音量をバーグラフで表示します。

画面表示を調整する

画面表示をOFFにしたり、画質を調整できます。

ランチャーメニューの[]→[]→[画面設定]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[画面]	画面表示をOFFにします。再度画面をタッチすると画面表示がONになります。
[昼画面]/[夜画面]	昼画面と夜画面を切り替えます。
[明るさ]	[+], [-]をタッチして明るさを調整します。

時計を設定する

ランチャーメニューの[]→[]→[一般]→[時計]をタッチ
設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[タイムゾーンを自動設定]	タイムゾーンの自動設定のON/OFFをします。
[タイムゾーンの選択]	[タイムゾーンを自動設定]がOFFのときに手でタイムゾーンを設定します。
[24時間表示]	12H/24H表示を切り替えます。

項目	機能・操作説明
[日付フォーマット]	年/月/日の表示フォーマットを設定します。

知識



- 時計に表示されている時刻は、GPSにより、ほぼ正確に表示されます。

基本的な使いかた


OTAソフトウェア自動更新

車載通信ユニット「Telematics Control Unit」またはWi-Fiを使用して、本機や、メーターやカメラなど車両のソフトウェアを更新することができます。

ソフトウェア更新画面

ランチャーメニューの[]→[]→[一般]→[システム]→[システム更新]→[ソフトウェア更新]をタッチ

ソフトウェア更新画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[ソフトウェア更新]	情報センターと接続し、更新可能な最新ソフトウェアの有無を確認します。 更新データがあればダウンロードすることができます。
[ソフトウェア更新の設定]	ソフトウェア更新の準備方法を設定します。 [自動]および[手動]を切り替えます。 [自動]にすると更新データの確認とダウンロードを自動で行います。  自動でソフトウェアを更新する (P.21)

項目	機能・操作説明
[ソフトウェア更新の履歴]	ソフトウェア更新の履歴を表示します。 履歴をタッチすると更新内容の詳細を確認できます。
[モジュールバージョン情報]	ソフトウェアのモジュールバージョン情報を表示します。

自動でソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新の設定を[自動]に設定すると、自動で更新の確認、データのダウンロードを行います。

更新データのダウンロードは走行中に行われ、ソフトウェアの更新は電源ポジションがOFFのときに行われます。

アドバイス

- ソフトウェア更新実施中は、電源ポジションをONにすることができません。そのため、車両を運転することができなくなります。更新が完了すると電源ポジションをONにすることができます。また、更新中は一部機能が使用できなくなります。

知識

- すぐにソフトウェア更新を開始しない場合は、更新開始の確認画面で[あとで]を選んでください。

更新の確認


電源ポジションをONにすると、自動的に情報センターと接続し、最新のソフトウェアの有無を確認します。

更新データのダウンロード

更新可能なソフトウェアがあれば、自動的にダウンロードします。電源ポジションをOFFにするとダウンロードが一時停止します。

ダウンロード中は通常通り車両をご使用いただけます。

知識

- 更新データがダウンロードされると更新準備完了アイコン()が表示されます。

ソフトウェアの更新

更新データのダウンロード後に電源ポジションをOFFにすると、更新開始の確認画面が表示されます。更新内容および所要時間が確認できます。

更新開始の確認画面から以下の項目が選べます。

項目	機能・操作説明
[今すぐ]	すぐにソフトウェア更新が開始されます。
[あとで]	次回電源ポジションをOFFにしたときに再度更新開始の確認画面が表示されます。

知識

- 更新は自動で行われるため、完了を待たずに車から離れることができます。

更新開始条件:

更新を安全に開始するために以下の条件が必要です。条件がそろわないと更新が開始されない場合があります。

- 車両を安全な場所に停止させている
- 電源ポジションがOFFになっている
- 非常点滅表示灯などの電装品がOFFになっている

はじめに設定しておきたいこと

ユーザー登録

ユーザー登録を行うことで、オーディオの音量設定など、最適な車内環境を記憶しておくことができます。

1. ランチャーメニューの[設定]→[設定] →[ユーザー]→ユーザーを選択
2. ユーザー情報を入力

登録された情報は、キーレスオペレーションキーに連動させることができます。電源ポジションをOFFポジションにするたびに、電源をOFFにした時点の設定がユーザーごとに保存され、次に電源ポジションをONにしたときに、キーレスオペレーションキーで認識されたユーザーの設定が呼び出されます。

知識

- 一部の機能は、ユーザーまたはユーザーに付与された権限によって使用可能かどうか異なります。
- 前回乗車時と違うキーレスオペレーションキーで電源ポジションをONにした場合、別のユーザーの設定が呼び出されることがあります。オーディオの設定などの登録情報はユーザーに紐づいているので、本機を起動時にユーザーを確認し切り替えてからご使用ください。

MITSUBISHI CONNECT ユーザーIDおよびパスワードの入力

MITSUBISHI CONNECTのスマートフォンアプリログイン、リモートサービスのご利用には、IDとパスワードの登録が必要です。

知識

- MITSUBISHI CONNECTの登録時に任意のIDおよびパスワードをアプリで設定します。IDとパスワードはアプリでいつでも変更が可能です。ID/パスワードを登録し、情報センターと認証することで、スマートフォンアプリが利用できるようになります。
- ➡ MITSUBISHI CONNECT (P.46)

入力手順

1. ランチャーメニューの[設定]→[設定]→[ユーザー]→ユーザーを選択→MITSUBISHI CONNECTの[ログイン]をタッチ
2. メールアドレス、パスワードを入力 [メールアドレス]、[パスワード]をタッチして、入力画面を表示します。
3. [ログイン]をタッチ

知識

- 車をお譲りになる場合は、MITSUBISHI CONNECTの設定を初期化してユーザーIDおよびパスワードを必ず消去してください。
- ➡ MITSUBISHI CONNECT を設定する (P.49)

Google アカウントの入力

Google のアプリやサービスの一部の機能をご利用いただくには、Google アカウントへのログインが必要です。

1. ランチャーメニューの[設定]→[設定] →[ユーザー]→ユーザーを選択→[アカウント]→[アカウントの追加]→[Google]をタッチ
2. Google アカウント情報を入力

知識

- Google マップなどGoogle 機能画面に表示される[ログイン]をタッチしてもアカウント情報の入力できません。

MEMO

オーディオ・テレビの基本操作

オーディオの設定	P.26
オーディオについて	P.27
オーディオ画面を表示する	P.27

ラジオを使う

ラジオをきく	P.28
交通情報をきく	P.29

USB・iPodを使う

再生する	P.30
USBについて	P.32
iPodについて	P.32

Bluetooth®オーディオ・HDMIを使う

Bluetooth®オーディオを使う	P.33
HDMI接続機器を使う	P.33

テレビを見る

テレビを見る	P.35
テレビの設定をする	P.37

オーディオの設定

ランチャーメニューの[]→画面上部の[]をタッチ

設定項目を選びます。

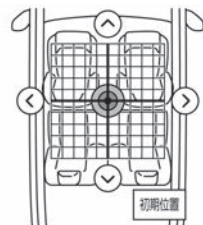
設定項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョン、オーディオソースなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明	
[サウンド]	[Bass]	[-]または[+]をタッチして低音域を調整します。
	[Middle]	[-]または[+]をタッチして中音域を調整します。
	[Treble]	[-]または[+]をタッチして高音域を調整します。
	[Bass Enhancer]	低音域を増強する機能のON/OFFを設定します。
	[車速連動ボリューム]	[-]または[+]をタッチして車速に連動して音量を自動調整する機能の効果幅を設定します。
	サウンドポジション	サウンドポジションの調整ができます。
[画面サイズ]	画面サイズを調整します。	
[エリア]	ラジオのエリアを選択します。	

知識

- オーディオソースによっては、設定表示用の[]が表示されない場合があります。
- テレビ表示中に[]をタッチするとTV設定画面を表示します。
 ② テレビの設定をする (P.37)
- すべての設定メニューからオーディオの音量を調整できます。
 ② 音量を調整する (P.20)

サウンドポジションを調整する



タッチして、サウンドポジションの調整ができます。

[初期位置]をタッチすると、サウンドポジションが中央に戻ります。

オーディオについて

- 寒いときや雨降りのときは、本機内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合は、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなど本機の温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。

オーディオ画面を表示する

ランチャーメニューの[🎵]をタッチ

オーディオ画面を表示します。

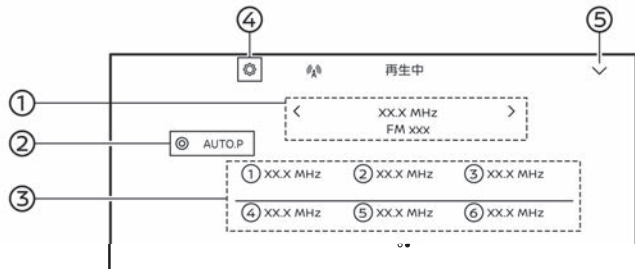
再度[🎵]をタッチ、または[Source]をタッチするとSourceメニューを表示し、ききたいソースを選んで画面を表示します。

Sourceメニュー画面は、項目を長押しして編集することができます。

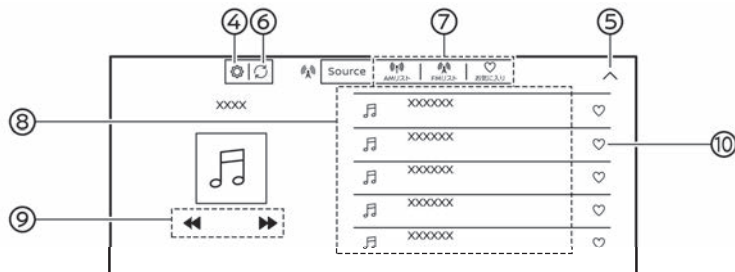
ラジオをきく

オペレーション画面またはリスト画面から聞きたい放送局を選びます。

● オペレーション画面



● リスト画面



- ① **周波数、放送局表示**
 現在受信中のラジオの周波数/放送局名を表示します。
 周波数の横の[<]/[>]をタッチすると周波数が変わります。
 長押しすると、自動的に感度の良い

放送局を受信できます。
 ラジオの放送局名は、エリアを選択すると表示されます。

➡ オーディオの設定 (P.26)

- ② **[AUTO.P]**
 AUTO.P画面に切り替えます。
 長押しすると、現在地で受信可能な放送局を自動的に取得 (オートプリセット) します。
- ③ **プリセットリスト**
 登録した周波数/放送局を表示します。
 タッチして選局します。
 番号をタッチし続けると、現在選択している放送局を登録できます。
 プリセットリストはスワイプして表示を切り替えられます。
- ④ **[⚙️]**
 オーディオの設定画面を表示します。
 ➡ オーディオの設定 (P.26)
- ⑤ **[↕️/↕️]**
 オペレーション画面とリスト画面を切り替えます。
- ⑥ **[🔄]**
 AMまたはFMリストを更新します。
- ⑦ **メニューバー**
 AMリスト、FMリスト、お気に入りの放送局リストを切り替えます。
- ⑧ **周波数、放送局リスト**
 リストから周波数/放送局を選択できます。
- ⑨ **[⏪]/[⏩]**
 自動的に感度の良い放送局を受信できます。
- ⑩ **[♡]**
 周波数/放送局をお気に入りに追加します。メニューバーの[お気に入り]

ラジオを使う

をタッチすると、お気に入り放送局リストを表示します。

知識

- オートプリセットをしても受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。
- 本機はワイドFM（FM 補完放送）に対応しています。ワイドFM（FM 補完放送）とは、AM 放送局の放送エリアにおいて、難聴対策や災害対策のために、新たにFM 放送用として使用可能とした周波数（90.0～94.9MHz）を加えたFM 放送用の周波数（76.1～94.9MHz）によりAM 放送の放送番組を放送するものです。
- 同一周波数に複数の放送局がある場合、放送局表示の横に<|/>が表示されます。タッチして放送局を切り替えられます。

スイッチで放送局を選ぶ

ステアリングスイッチやコントロールパネルでも放送局を選べます。

■ 登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）

ステアリングスイッチの < ◀▶ > / < ▶▶ > ボタンを押して、プリセットリストから選局します。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ 自動で選局する

ステアリングスイッチの < ◀▶ > / < ▶▶ > ボタンを長押しして、自動的に感度の良いチャンネルを受信できます。

コントロールパネルの < ◀▶ > / < ▶▶ > ボタンを押しても、自動で選局できます。

知識

- ステアリングスイッチのメニュー操作スイッチで画面を操作して放送局を選ぶこともできます。
- ➡ メニュー操作スイッチの使いかた (P.9)

交通情報をきく

ランチャーメニューの [] → [] → [交通情報] をタッチまたはSourceメニュー画面の [交通情報] にタッチ

交通情報をきくことができます。

再生する

USBメモリまたはiPod/iPhoneを接続し、Sourceメニュー画面で該当のオーディオソースをタッチ

接続機器を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。

警告

- 接続するオーディオ機器のUSBケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

注意

- 本体に接続するオーディオ機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、USBメモリ本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。
- 走行中にUSBメモリやiPod/iPhoneなどのプラグの抜き差しをしないでください。接続口および接続メディア本体の破損につながる可能性があります。

- USBメモリやiPod/iPhoneなどを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所にUSBメモリやiPod/iPhoneなどを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- USBメモリやiPod/iPhoneの接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続、挿入しないでください。
- iPod/iPhoneの機種やiOSバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPod/iPhoneを使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、消失したデータの補償はできません。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手や足などにケーブルが引っ掛かり、断線や破損のおそれがあります。

知識

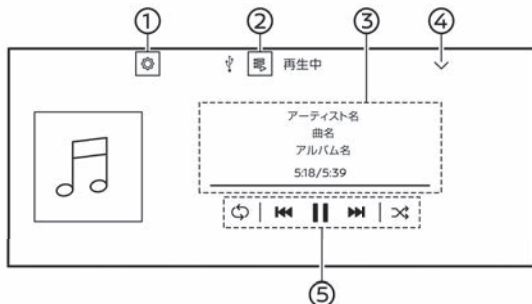
- ケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。
- 本機と接続中、iPod/iPhoneは充電されます。

- 本機と接続するときは、iPod/iPhoneのヘッドフォンなどのアクセサリを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 曲を選ばないまま2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。
- 接続するiPod/iPhoneの取扱説明書もあわせてお読みください。
- ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照ください。
- 使用するオーディオ機器によって、一部の操作メニューが使用できないことがあります。

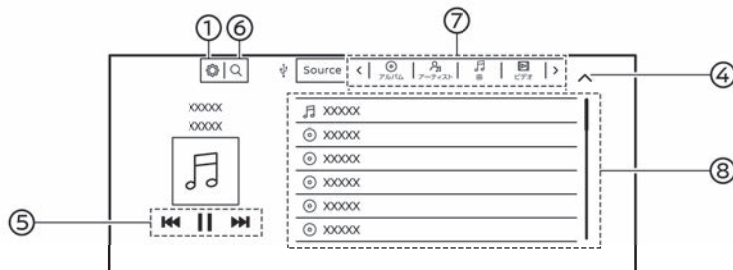
操作画面の見かた


接続するデバイスや再生するソース、ソフトウェアバージョンなどによって表示は異なります。




● オペレーション画面



● リスト画面



- ① **[]**
オーディオの設定画面を表示します。
➡ [オーディオの設定 \(P.26\)](#)

- ② **[]**
プレイリスト画面を表示できます。
- ③ **ファイル情報**
アーティスト名、曲名、再生時間などを表示します。
シークバーを使って任意の場所から再生することができます。
- ④ **[]**
オペレーション画面とリスト画面を切り替えます。
- ⑤ **操作キー**
タッチしてプレイモードの変更や曲送りなどをします。
- ⑥ **[]**
ファイル検索画面を表示します。
- ⑦ **メニューバー**
リスト表示を切り替えます。
[<|>]でメニューを送ります。
- ⑧ **ファイルリスト**
リストからフォルダ、曲、ビデオを選択できます。

知識

- MP3ファイルの楽曲情報は、ID3タグを参照しています。楽曲情報が文字化けするときはID3タグを修正してください。
- USBメモリのフォルダ内でのリピート再生はできません。

アドバイス

- USBビデオは安全のため、走行中は映像は映らず、音声のみきくことができます。車を完全に停車し、パーキングブレーキをかけたときのみ、映像をご覧になることができます。パーキングブレーキをかけず、ブレーキオートホールド機能★などで停車しているときは、映像は映りません。
- USBビデオは、画像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示されません。
- USBビデオ再生時は、[再生速度]をタッチして再生速度を変更できます。

USBについて

本機で対応可能なメディアやフォーマットをご使用ください。

➡ [USBについて \(P.77\)](#)

iPodについて

お使いのiPod/iPhoneを本機に接続して音楽をきくことができます。iPod® は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Bluetooth®オーディオを使う

再生する

1. **Bluetooth®オーディオ機器を接続**
➡ **登録機器画面について (P.17)**
2. **Sourceメニュー画面で [Bluetooth] をタッチ**
Bluetooth®オーディオ操作画面を表示します。

画面で操作できる機能や画面に表示される項目は、接続機器やソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

Bluetooth®オーディオについて

- Bluetooth®オーディオ機器は、機種により対応していない場合があります。また、対応している機種でも一部の機能が使用できない場合があります。
- Bluetooth®の接続設定がOFFになっていると、Bluetooth®オーディオは接続されません。
➡ **登録機器画面について (P.17)**
- 以下のときはBluetooth®オーディオの再生は一時停止することがあります。下記動作が終了すると、Bluetooth®オーディオの再生を再開します。
 - MITSUBISHI CONNECTによるデータダウンロード中 (手動または自動)
 - 交通情報の受信中
 - ハンズフリー通話中
 - 携帯電話の接続確認中

- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されているため、Bluetooth®オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常よりBluetooth®オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AVプロファイル (A2DP、AVRCP) に対応しています。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Robert Bosch GmbHはライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

HDMI接続機器を使う

再生する



1. **HDMI接続可能な機器を、HDMI端子に接続**
HDMI端子の位置については車両取扱説明書をご覧ください。
2. **Sourceメニュー画面で [HDMI] をタッチ**

機器を操作すると再生が始まります。映像表示中に画面にタッチすると操作画面が表示され、[Source]からオーディオソースを切り替えられます。HDMI接続機器を取り外すときは、再生を停止してから取り外してください。

アドバイス

- 安全のため、走行中は映像は映らず、音声のみ聞くことができます。車を完全に停車し、パーキングブレーキをかけたときのみ、映像をご覧になることができます。
パーキングブレーキをかけず、ブレーキオートホールド機能★などで停車しているときは、映像は映りません。
- 外部機器またはHDMIケーブルの抜き差しはコネクタ付近を持って行ってください。外部機器やコネクタの破損につながるおそれがあります。
- HDMI接続機器の接続口が、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続、挿入しないでください。

知識

- 接続するHDMI機器の特性により、映像/音声が表示されない場合があります。外部機器の特性に由来するため、本機の異常ではありません。

HDMI機器の出力解像度および設定方法についてはHDMI機器の取扱説明書をご確認ください。

HDMIについて

■ ライセンス

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。



■ 接続仕様

出力解像度が720p (1280x720) に対応しているHDMI機器をお使いいただけます。

知識

接続するHDMI機器の出力解像度の設定を720pに設定してご利用ください。

テレビを見る

テレビ画面を表示する

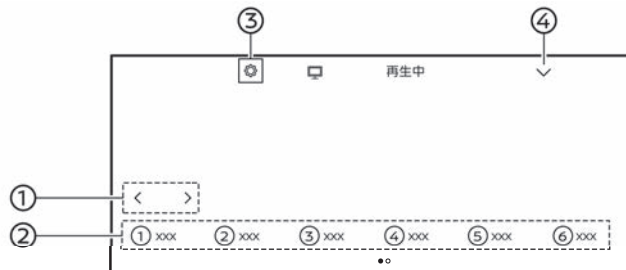
Sourceメニュー画面で【TV1(自宅エリア)】または【TV2(おでかけエリア)】をタッチ
TV1 (自宅エリア) またはTV2 (おでかけエリア) 画面を表示します。

知識

- 安全のため、走行中は映像は映らず、音声のみ聞くことができます。車を完全に停車し、パーキングブレーキをかけたときのみ、映像をご覧になることができます。
パーキングブレーキをかけず、ブレーキオートホールド機能★などで停車しているときは、映像は映りません。
- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出ないことがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

操作画面の見かた

テレビ表示中に画面にタッチすると操作画面が表示されます。



- ① **【</>】**
チャンネルを切り替えます。
- ② **チャンネルリスト**
タッチしてチャンネルを切り替えます。
スワイプして、チャンネルリスト1~6と7~12を切り替えます。
放送局名がない場合は、3桁のチャンネル番号を表示します。
- ③ **【⚙️】**
テレビ設定画面を表示します。
👉 テレビの設定をする (P.37)
- ④ **【≡】**
チャンネルをリスト表示できます。
チャンネルリスト画面でおでかけエリアと自宅エリアの切り替えができます。

テレビを見る

■ 緊急警報放送（EWS）について


- 大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
- 本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送を表示します。緊急警報放送終了後、90秒で自動的に元に戻ります。

■ アイコン一覧（例）

地上デジタルテレビ画面ではアイコンによって、表示画面の情報をお知らせします。テレビ画面表示中に画面をタッチすると、右上に表示されます。アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

記号	記号の意味	記号	記号の意味	記号	記号の意味
	テレビ放送（映像＋音声）の番組。		データ放送の番組。		ワンセグ放送の番組。
	フルセグ放送の番組。		番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。		番組とは別のデータ放送を行っている番組。
	モノラル音声の番組。		2カ国語放送の番組。		ステレオ放送の番組。
	デジタル出力していない番組。		アナログ出力していない番組。		デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）		1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）		番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。
	ワイド画面の通常放送の番組。		ワイド画面のハイビジョン放送の番組。		ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
	ノーマル画面の通常放送の番組。		ワンセグ／フルセグ切替の設定が自動。		
	緊急警報放送（EWS）。		臨時放送。		

テレビの設定をする

テレビ操作画面上部の[]をタッチ

設定項目を選びます。

項目	機能・操作説明
[サウンド]	オーディオ設定画面を表示します。 ➡ オーディオの設定 (P.26)
[放送局サーチ]	走行エリア付近の放送局を自動的に探します。 地上デジタル放送では、走行エリアによっては同一放送局であってもチャンネルが異なる場合があります。
[番組表]	番組表を表示します。
[番組内容]	番組の詳しい内容を表示します。 ワンセグ受信中は番組内容やデータ放送の使用はできません。
[データ放送操作キー呼出]	データ放送の操作キーを表示します。
[画面サイズ]	画面サイズを調整します。
[オートプリセット]	現在地で受信可能な放送局を自動的に取得します。 TV1 (自宅エリア)、TV2 (おでかけエリア) に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。
[自宅エリア、郵便番号設定 (TV1)]	自宅エリア (TV1) の地域を郵便番号から設定します。
[おでかけエリア、郵便番号設定 (TV2)]	おでかけエリア (TV2) の地域を郵便番号から設定します。
[チャンネル番号入力]	チャンネル番号を直接入力します。
[自動放送局サーチ]	中継局+系列局、中継局、OFFを切り替えます。
[字幕]	非表示、第一言語、第二言語から字幕を切り替えます。
[ワンセグ/フルセグ切替]	自動、フルセグ、ワンセグを切り替えます。
[イベントリレー]	ON/OFFを切り替えます。ONにすると、番組のチャンネルが移行する場合、自動でチャンネルを切り替えることにより、継続して視聴できます。
[主・副]	主音声、副音声、主/副音声を切り替えます。

テレビを見る

項目		機能・操作説明
[音声切替]		フルセグ時：第一音声～第十六音声に切り替えます。 ワンセグ時：第一音声～第二音声に切り替えます。
[設定情報初期化]	[自宅エリア設定消去 (TV1)]	自宅エリアの設定を消去します。
	[おでかけエリア設定消去 (TV2)]	おでかけエリアの設定を消去します。
	[設定初期化]	全データを消去し、設定を初期状態にします。
[デバイスID表示]		デバイスIDを表示します。

ハンズフリーフォンの基本操作

携帯電話の接続	P.40
---------	------

ハンズフリーフォンの操作画面	P.40
----------------	------

通話機能を使う

電話をかける	P.41
--------	------

電話を受ける	P.41
--------	------

通話中の操作	P.41
--------	------

ショートメッセージ (SMS) 機能を使う

SMSを受信する	P.42
----------	------

SMSを送る	P.42
--------	------

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの設定画面	P.43
----------------	------

ハンズフリーフォンの基本操作

携帯電話の接続




ご使用前に、お客さまの携帯電話が本機でご利用可能かどうかをご確認ください。適応するBluetooth®携帯電話は三菱自動車販売会社にお問い合わせいただくか、『デリカミニ』車種サイトからご確認いただけます。

ご使用する前に

ハンズフリーフォンを使用するには、本機のBluetooth®接続をONにする必要があります。

➡登録機器の設定 (携帯電話) (P.18)

電話機を接続 (登録) する

ランチャーメニューの[]→[]→[]→[登録機器]→[登録]をタッチ

携帯電話またはBluetooth®機器のBluetooth®設定でデバイス検索し、「MY_CAR」を選択します。

設定する機種によって、パスキー入力が必要です。






携帯電話を複数登録した場合は、機器接続画面で機器名称をタッチするか、接続機器

名の[○○○]で[ハンズフリー通話]をONにして使用する携帯電話を選びます。



知識

- 携帯電話側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照ください。


音量を調整する

ランチャーメニューの[]→[]→[]→[サウンド調整]→[音量]→[着信音量]または[通話音量]の[+]または[-]をタッチ

知識

- 着信音量/通話音量は、着信中/通話中にコントロールパネルの <  VOL > ダイヤルまたはステアリングスイッチの <  > ボタンで調整することもできます。
- 通話音量は、ハンズフリーフォン接続時のみ変更可能です。

ハンズフリーフォンの操作画面


ランチャーメニューの[]をタッチ

ハンズフリーフォン操作画面を表示します。画面上部に電話メニューバーが表示され、タッチして操作できます。

項目	機能・操作説明
[通話履歴]	通話履歴画面を表示します。
[電話帳]	電話帳画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[お気に入り]	携帯電話に登録されているお気に入りの連絡先を表示します。長押しして編集画面を表示させ、ドラッグして表示順を変えることができます。
[キーパッド]	番号入力画面を表示します。
[メッセージ]	ショートメッセージ (SMS) 画面を表示します。 ➡ ショートメッセージ (SMS) 画面から見る (P.42)

知識



- [] をタッチするとキーボードで入力ができます。
- アンテナ表示、バッテリー表示は携帯電話の表示と一致しない場合があります。

電話をかける

キーボードや電話帳からなど、お好みの方法を使って電話をかけることができます。

👉 [ハンズフリーフォンの操作画面 \(P.40\)](#)



電話を受ける


ステアリングスイッチの <  > ボタンを押すか、着信画面の[]をタッチ

電話に出ます。

電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、自動的に着信画面が表示されます。

着信画面から以下の項目が選べます。

項目	機能・操作説明
[]	電話に出ます。
[]	着信を拒否します。


通話を終了するには、ステアリングスイッチの <  > ボタンを押すか[通話終了]をタッチします。

知識



- 接続する携帯電話によっては画像または一部の項目が表示されない場合があります。
- Bluetooth®接続時に電話機本体で電話を受けた場合、電話の機種によりハンズフリー通話にならない場合があります。

通話中の操作

条件により表示項目は異なります。

項目	機能・操作説明
[通話終了]	電話を切ります。
[ミュート]	通話中の相手に声が聞こえないようにします。ミュート中はインジケーターが点灯します。
[ハンドセット]	ハンズフリー通話と携帯電話本体での通話を切り替えます。タッチすると出力デバイスを選択する画面が表示されるので、通話する方を選びます。
[キーボード]	通話中の番号入力に使用します。入力画面から通話中画面に戻るには[]をタッチします。
[保留]	タッチすると通話中の電話が保留になります。再度タッチすると保留が解除されます。
[通話の切替]	通話中と保留中の電話を切り替えます。複数回線接続時に使用します。

知識

- 通話中にランチメニューをタッチすると該当の画面を表示します。ランチメニューの[]またはステアリングスイッチの <  > ボタンを押すと再び電話画面を表示します。
- ハンドセット切り替えは、携帯電話本体で切り替えできる機種もあります。
- 電源ポジションをOFFにしたあとも通話を続けたい場合は、あらかじめ携帯電話での通話に切り替えてください。

ショートメッセージ (SMS) 機能を使う

SMSを受信する


SMS受信時は、画面にメッセージ受信のポップアップを表示します。

受信表示から見る

画面に表示される受信ポップアップの[読む]をタッチ

メッセージ画面を表示します。

知識

- [あとで読む]をタッチすると、同じ送信者からのメールが通知されなくなります。通知を再開するには、メニュー画面のをタッチして設定してください。

メニュー画面について (P.11)

- SMS機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。
- iPhoneでSMS機能を使用するためには、iPhone側で「MY CAR」への通知設定をONにします。

ショートメッセージ (SMS) 画面から見る

ハンズフリーフォン操作画面の[メッセージ]をタッチ

受信メッセージ一覧から確認したいSMSを選ぶとメッセージ画面を表示します。

メッセージ画面メニュー

項目	機能・操作説明
[前へ]	前のメッセージを表示します。
[次へ]	次のメッセージを表示します。
[再生]	メッセージを読み上げます。
[停止]	メッセージの読み上げを停止します。
[返信]	返信画面を表示します。[定型文]または[カスタマイズ文]をタッチして送信するメッセージを選択します。
[電話をかける]	送信元に直接電話をかけます。

知識

- 返信機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。

SMSを送る

SMSを送るときは、メッセージを登録しておくとお便利です。

SMSを送信する

1. ハンズフリーフォン操作画面の[メッセージ]をタッチ
2. [メッセージ作成]→[宛先]をタッチ
送信先を登録する方法を選んでタッチし、宛先を選びます。
3. [メッセージ選択]をタッチ
[定型文]または[カスタマイズ文]を選びます。
文章を作成するには[カスタマイズ文]→[新規登録]をタッチします。
4. [送信]をタッチ

知識

- 送信機能は接続した携帯電話によりご利用できないことがあります。

ハンズフリーフォンの設定をする

ハンズフリーフォンの設定画面

ハンズフリーフォン操作画面上部の[]をタッチ

設定項目を選びます。

項目		機能・操作説明
[機器接続]		機器接続画面を表示します。Bluetooth®接続のON/OFF、機器の切り替え、接続機器の消去などができます。 🔍 登録機器、Wi-Fiを設定する (P.16)
[並べ替え]		苗字または名前で電話帳を並び替えます。
[メッセージ]	[メッセージ]	SMS機能をON/OFFします。
	[メッセージ音]	SMS受信時の着信音をON/OFFします。
	[署名]	SMS送信時の署名のON/OFFを設定します。
	[自動返信]	自動返信をON/OFFします。
	[自動返信メッセージ]	自動返信時のメッセージを設定します。
	[オリジナル（作文）の編集]	送信時の定型文、オリジナル（作文）を編集します。[新規登録]をタッチすると、新規メッセージが作れます。SMS送信画面から作成することもできます。
表示する場所	[メーターのみ]	ONにすると、マルチインフォメーションディスプレイのみに通知を表示します。
	[全ての画面]	ONにすると、マルチインフォメーションディスプレイと本機の両方に通知を表示します。

MEMO



ハンズコンピューティング

MITSUBISHI CONNECT

MITSUBISHI CONNECT とは P.46

MITSUBISHI CONNECT をお使いになる前に P.46

MITSUBISHI CONNECT を使う

MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー P.48

MITSUBISHI CONNECT を使いこなす

MITSUBISHI CONNECT を設定する P.49

MITSUBISHI CONNECT とは

MITSUBISHI CONNECT とは、車両に搭載されている車載通信ユニット「Telematics Control Unit」と情報センターが通信することで、車両コントロールアプリ(スマートフォンアプリ「Mitsubishi Motors」)やデータダウンロードなどの利用が可能になる便利なコネクテッドサービスのことです。

MITSUBISHI CONNECT

アドバイス

- サービスを提供するうえで必要となる情報（例えば、自車の位置情報や走行情報、サービスの利用状況、車の位置や車載機IDなど）はご利用時に情報センターへ自動的に送られます。

MITSUBISHI CONNECT では、さまざまなサービスをご利用いただけます。サービス内容の詳細は当社専用Webサイトをご確認ください。サービスは追加・変更されることがあります。
<https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/>


MITSUBISHI CONNECT をお使いになる前に

サービスのお申し込みについて

アドバイス

- サービスのご利用には、MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みが必要となります。詳しくは、購入された三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
 またサービスをご利用になる前に、スマートフォンアプリ「Mitsubishi Motors」のダウンロード、ユーザー登録が必要です。
- ➡ MITSUBISHI CONNECT とは (P.46)
- ➡ MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー (P.48)
- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。退会手続きはスマートフォンアプリで行えます。また本機に保存されている情報は消去してください。詳しくは、MITSUBISHI CONNECT 問い合わせサポートにご相談ください。
- MITSUBISHI CONNECT の入会、退会方法やお手続きの詳細は当社専用Webサイトをご確認ください。

ご使用上の注意

- MITSUBISHI CONNECT をご利用になると、電波の受信状態を示すマーク（Telematics Control Unitアイコン）が画面に表示されます。電波の受信状態が良好を示すマーク（)が表示されている場所でサービスをご利用ください。
- MITSUBISHI CONNECT は、車載通信ユニット「Telematics Control Unit」の電波状態などで、情報センターに接続できない場合や途中で通信が途切れる場合があります。電波状況が良好になってから再度通信を行ってください。
- 画面上のTelematics Control Unitアイコンが良好状態を表示していても、情報センターに接続できない場合がありますが、故障ではありません。少し時間がたってから再度通信を行ってください。
- 車載通信ユニット「Telematics Control Unit」は、Xi/FOMAモジュールを採用して、通信を利用したサービスを提供します。（「Xi」、「FOMA」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。）
 以下の場合には、サービスをご利用になりません。
 - ー サービスをご利用になっている場所が通信エリア外のと き
 - ー サービスをご利用になっている場所が通信エリア内であっても、回線混雑などで発信規制がかかっているとき、もしくは通信状態が不安定なとき
- 2週間以上車を使用されなかった場合は通信ができなくなり、リモート機能など

の操作ができなくなります。この場合は、電源ポジションをONにすると、再度通信ができるようになります。

MITSUBISHI CONNECT が正常に作動しない場合は「故障かな?と考える前に」をお読みください。

➡ 故障かな?と考える前に (P.62)

車載通信ユニット「Telematics Control Unit」について

この車両には、Telematics Control Unit という車載通信ユニットが搭載されています。

- 本製品には、電気通信事業法第56条第2項の規定に基づく端末機器の設計について認定を受けた設備が組み込まれています。
- 本製品には、電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けた設備が組み込まれています。

MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー

MITSUBISHI CONNECT サービスメニューから、いろいろな情報を確認したり、サービスを受けたりできます。

ランチャーメニューの[]→[MITSUBISHI CONNECT サービス]をタッチ

各種サービス画面を表示します。

項目	機能・操作説明
[オペレータ接続]	問い合わせサポートのオペレータに接続できます。
[メッセージ履歴]	受信した情報の履歴を見ることができます。

MITSUBISHI CONNECT を設定する

MITSUBISHI CONNECT サービスの各種設定をします。

ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[MITSUBISHI CONNECT サービス]をタッチ

設定項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目		機能・操作説明
[スマートフォンからの目的地受信]		スマートフォンからの目的地受信のON/OFFを切り替えます。
[メッセージ履歴を全て消去]		メッセージ履歴を全て消去します。
[プローブ情報設定]	[プローブ情報の送信]	位置、走行距離および燃費などの走行情報(プローブ情報)が、情報センターに送られます。
	[プローブ情報を消去]	走行情報(プローブ情報)を全て消去します。
[車載機IDの表示]		MITSUBISHI CONNECT に関連する本機のID情報を表示します。
[MITSUBISHI CONNECT サービス設定を全て初期化]		MITSUBISHI CONNECT の設定を初期化します。 初期化された設定および消去された履歴は元に戻すことはできません。

MEMO

アプリメニュー

アプリメニューを使う	P.52
------------	------

Google のアプリやサービス

Google のアプリやサービスについて	P.54
----------------------	------

Google アシスタント	P.54
---------------	------

Google マップ	P.54
------------	------

Google Play	P.54
-------------	------

Apple CarPlay

Apple CarPlayを使う	P.55
------------------	------

Android Auto

Android Auto を使う	P.57
------------------	------

ETC

ETCの情報を確認する	P.59
-------------	------

ETCの設定をする	P.59
-----------	------

アプリメニューを使う

ランチャーメニューの[]をタッチ

項目を選び各種情報画面を表示します。アプリメニュー画面の上側には最近使用したアプリが表示されます。

アプリメニューは項目を長押しして編集することができます。

項目は、グレード、オプション、ソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[Playストア]	Google Play 画面を表示します。Google Play を使用するには、Google アカウントへのログインが必要です。
[Google Assistant]	Google アシスタントを起動します。 ➡ Google アシスタント (P.54)
[マップ]	Google マップ画面を表示します。Google アカウントへログインすることで、施設などをお気に入り登録することができます。
[MITSUBISHI CONNECT サービス]	MITSUBISHI CONNECT サービス画面を表示します。 ➡ MITSUBISHI CONNECT サービスメニュー (P.48)
[MITSUBISHI CONNECT App]	MITSUBISHI CONNECT サービスのスマートフォンアプリをダウンロードするための二次元コードを表示します。
[ドライブレコーダー]	ドライブレコーダー画面を表示します。 詳細は車両取扱説明書をご覧ください。
[ユーザープロフィール]	ユーザープロフィールの確認・編集、ユーザーの切り替えができます。 ➡ すべての設定メニューについて (P.13)
[ETC]	ETC2.0情報メニュー画面を表示します。 ➡ ETCの情報を確認する (P.59)
[GPS現在地情報]	GPS情報を表示します。
[システム情報]	[バージョン情報] 本システムのバージョン情報を確認できます。
	[ライセンス情報] ライセンス情報を確認できます。
[すべての設定]	すべての設定メニューを表示します。 ➡ すべての設定メニューについて (P.13)

アプリメニュー

項目	機能・操作説明
[Android Auto]	Android Auto 画面を表示します。 ➡ Android Auto (P.57)
[Apple CarPlay]	Apple Carplay画面を表示します。 ➡ Apple CarPlay (P.55)

Google のアプリやサービスについて

以下のGoogle のアプリやサービスを利用できます。

- Google アシスタント
- Google マップ
- Google Play

Google Play、Google マップ、およびその他のマークは Google LLC の商標です。ご利用には、インターネット接続や Google アカウントへのログインが必要です。

🔗 Google アカウントの入力 (P.23)

利用可能な機能の詳細については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://built-in.google/cars/>

📖 知識

- ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[Google]をタッチすると、Google のアプリやサービスの設定ができます。

Google アシスタント

音楽再生、目的地設定、通話など、さまざまな機能を声で操作できます。

基本的な操作の流れ

3種類の方法でGoogle アシスタントを起動できます。

- "OK Google"または"Hey Google"と発話する
- ランチャーメニューの[🏠]をタッチ
- ステアリングスイッチの< 🗣️ >ボタンを押す
- 音声ガイドの音量は、音声ガイドが流れているときにステアリングスイッチの< 🔊 >ボタンで調整できます。
- ステアリングスイッチの< 🗣️ >ボタンを押すと、Google アシスタントを終了します。

📖 知識

- ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[Google]をタッチし、Google メニューからGoogle の音声起動設定をON/OFFができます。
- コマンド認識後の音声案内中にステアリングスイッチの< 🗣️ >ボタンを押すと、コマンドをキャンセルすることができます。
- 音声操作で車両機能を使用中に車両側のスイッチで操作を行った場合、スイッチ操作が優先されます。
- ランチャーメニューの[🏠]→[Google Assistant]をタッチしてもGoogle アシスタントを使用できます。

Google マップ

ルート検索、周辺施設検索などのナビゲーション機能が使用できます。

🔗 アプリメニューを使う (P.52)

📖 知識

- Google マップ使用中にネットワークが切断された場合、キャッシュメモリ内に保存されている地図データが使用されます。

Google Play

さまざまなアプリをダウンロードして、本機で使用できます。

🔗 アプリメニューを使う (P.52)

Apple CarPlayを使う

Apple CarPlay対応のiPhoneを本機にUSBまたはワイヤレス接続することでApple CarPlayを使用することができます。Apple CarPlay、iPhone、Sirilは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

iPhoneについて

Apple CarPlay対応のiPhoneについては、AppleのWebサイト (<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>) でご確認ください。

- 動画、静止画表示には対応していません。
- iPhoneの動作については全てを保証するものではありません。
- iPhoneをご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
- iPhoneを接続しても操作ができない場合は、iPhoneを外して再度接続してください。
- iPhoneの対象機種一覧に記載があっても、iOSのバージョンによって動作しない場合があります。
- iPhone内のビデオファイルの再生はできません。

Apple CarPlayについて

- Apple CarPlayが起動している間は、接続しているiPhoneでのBluetooth®機能は使用できません。
- Apple CarPlayの詳細については、AppleのWebサイト (<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>) をご確認ください。
- Apple CarPlayはAppleが提供するアプリケーションです。各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

iPhoneを接続する

■ USB接続する

1. **iPhoneをUSBポートに接続**
2. **Apple CarPlay起動時の確認メッセージが表示されたら、画面に従って操作**
Apple CarPlayが起動します。
Apple CarPlayとして接続しない場合、iPhoneをiPodとして接続できます。

📖 知識

- iPhoneを接続するときは、iPhoneに付属のUSBケーブルを使用してください。

■ ワイヤレスで接続する

1. **iPhoneをBluetooth®接続**
👉 登録機器、Wi-Fiを設定する (P.16)
2. **Apple CarPlay起動時の確認メッセージが表示されたら、[はい]をタッチ**
Apple CarPlayが起動します。
iPhoneに表示される通知でワイヤレス接続を選択すると、ワイヤレスでApple CarPlayがご利用いただけます。

📖 知識

- ワイヤレスで接続するためには、位置情報の設定が必要です。ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[一般]→[位置情報]をタッチして、位置情報サービスの設定をONにしてください。

📖 知識

- 本機の設定によって、iPhoneを接続してもApple CarPlay画面を表示しないことがあります。ランチャーメニューに[📱]が表示されている場合は、タッチして、Apple CarPlay画面を表示させてください。ランチャーメニューに[📱]が表示されない場合は、接続機器設定を変更することでApple CarPlay画面を表示することができます。

🔗 登録機器、Wi-Fiを設定する
(P.16)

- [Apple CarPlay利用時の補足情報]をタッチすると、Apple CarPlay利用時の補足情報を表示します。

🔗 登録機器画面について (P.17)

- 接続機器がApple CarPlay、Android Auto またはBluetooth®に接続されていない場合は、ステアリングスイッチの< 📱 > ボタンを長押しすると、接続画面が表示されます。

Apple CarPlay画面を表示する

Apple CarPlay対応のiPhoneをUSBまたはワイヤレス接続すると、ランチャーメニューの[📱]が[📱]になります。Apple CarPlay以外の画面のときにタッチしてApple CarPlay画面を表示できます。

表示されているiPhoneの機能の本機の画面上で使用できます。

📖 知識

- ランチャーメニューの[📱]→[Apple CarPlay]からもApple CarPlayを起動できます。

🔗 アプリメニューを使う (P.52)

Siriの使いかた

Apple CarPlay使用中にSiriを使用できません。

ステアリングスイッチの< 📱 > ボタンを長押し

Siriが起動します。

Apple CarPlayの接続を切り替える

ランチャーメニューの[📱]→[🔗]→[機器接続]→[登録機器]→接続したい機器の横にある[○○○]→[Apple CarPlay]をタッチ

Apple CarPlayの接続または非接続を切り替えます。

Android Auto を使う

Android Auto 対応のAndroid スマートフォンを本機にUSBまたはワイヤレス接続することでAndroid Auto を使用することができます。

Android およびAndroid Auto は、Google LLCの商標です。

Android スマートフォンについて

Android Auto を利用するには、Android Auto に対応したAndroid スマートフォンが必要です。詳細はGoogle 社のWebサイト(<https://www.android.com/auto/>)でご確認ください。

- Android スマートフォンで再生可能な動画、静止画表示には対応していません。
- Android スマートフォンの動作については全てを保証するものではありません。
- Android スマートフォンを接続しても操作ができない場合は、Android スマートフォンを外して再度接続してください。

Android Auto について

- Android Auto が起動している間は、接続しているスマートフォンでのBluetooth®機能は使用できません。
- 詳細については、Google 社のWebサイト(<https://www.android.com/auto/>)をご覧ください。
- Android Auto はGoogle が提供するアプリケーションです。各機能は予告なく

変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。

Android スマートフォンを接続する

アドバイス

- Android Auto をご利用になるには、Android Auto のアプリケーションを接続するスマートフォンにダウンロードする必要があります。詳細についてはGoogle Play のAndroid Auto アプリページを参照してください。
- 初めてAndroid スマートフォンを接続する場合は、パーキングブレーキをかけてください。

■ USB接続する

1. **Android スマートフォンをUSBポートに接続**
2. **Android Auto 起動時の確認メッセージが表示されたら、画面に従って操作**
Android Auto が起動します。

知識

- Android スマートフォンを接続するときは、Android スマートフォンに付属のケーブルを使用してください。
- Android スマートフォンがロック状態のときはAndroid Auto が起動しない場合があります。

- 本機の設定によって、Android スマートフォンを接続してもAndroid Auto 画面を表示しないことがあります。ランチャーメニューに[▲]が表示されていたらタッチして、Android Auto 画面を表示させてください。ランチャーメニューに[▲]が表示されない場合は、接続機器設定を変更することでAndroid Auto 画面を表示することができます。

■ ワイヤレスで接続する

1. **Android スマートフォンをBluetooth®接続**
👉 [登録機器画面について \(P.17\)](#)
2. **Android Auto の起動時の確認メッセージが表示されたら、メッセージに従って操作**
Android Auto が起動します。
Android スマートフォンに表示される通知でワイヤレス接続を選択すると、ワイヤレスでAndroid Auto がご利用いただけます。

知識

- ワイヤレスで接続するためには、位置情報の設定が必要です。ランチャーメニューの[📶]→[📍]→[一般]→[位置情報]をタッチして、位置情報サービスの設定をONにしてください。

📖 知識

- ワイヤレス接続を選択しなかった場合、Android スマートフォンは Bluetooth®機器として接続されます。

後からワイヤレス接続をしたい場合は、Bluetooth®機器として登録しているAndroid スマートフォンを一度削除して再接続してください。

- [Android Auto利用時の補足情報]をタッチすると、Android Auto 利用時の補足情報を表示します。

➡ [登録機器画面について \(P.17\)](#)

- 接続機器がApple CarPlay、Android Auto またはBluetooth®に接続されていない場合は、ステアリングスイッチの< 🏠 >ボタンを長押しすると、接続画面が表示されます。

Android Auto 画面を表示する

Android Auto 対応のAndroid スマートフォンを接続しているときにAndroid Auto 画面を表示できます。

ランチャーメニューの[🏠]をタッチ

Android Auto 画面が表示されます。

📖 知識

- ランチャーメニューの[🏠]→[Android Auto]からもAndroid Auto を起動できます。

➡ [アプリメニューを使う \(P.52\)](#)

Google アシスタントの使いかた

Android Auto 使用中にGoogle アシスタントを使用できます。

ステアリングスイッチの< 🏠 >ボタンを長押しまたは"OK Google"と発話


起動音が鳴り、Google アシスタントが起動します。

Android Auto の接続を切り替える

ランチャーメニューの[🏠]→[⚙️]→[機器接続]→[登録機器]→接続したい機器の横にある[○○○]→[Android Auto]をタッチ

Android Auto の接続または非接続を切り替えます。

ETCの情報を確認する

ランチャーメニューの[]→[ETC]をタッチ



項目	機能・操作説明
[ETC利用履歴]	利用日時や料金の利用状況を確認できます。
[ETC利用積算額]	ETCの利用積算額とその積算期間の表示や、初期化ができます。
[セットアップ情報]	ETCユニットのセットアップ時に必要な情報を表示します。

 知識

- ETCユニットがセットアップ（ETCユニットを利用可能にする手続き）されていない場合は、情報が表示されないものや動作しないものがあります。
- ETC利用履歴は、日時の新しい順に表示します。
- ETC利用積算額は、あくまでも目安として活用してください。
- ETCユニットの設置場所については、車両取扱説明書をご覧ください。

ETCの設定をする

ETCの各種機能を設定します。

ランチャーメニューの[]→[ETC]→画面上部の[]をタッチ

項目は、条件やソフトウェアバージョンなどの違いにより異なります。

項目	機能・操作説明
[ETC2.0ブロープ情報設定]	ETC2.0搭載車のブロープ情報の送信のON/OFFを設定します。ブロープ情報とは車両の走行情報のことをいいます。
[カード忘れの警告設定]	カードの入れ忘れや抜き忘れの警告のON/OFFを設定できます。
[ETC音声ガイド]	ETCシステムを利用するとき、音声ガイドを行うか設定できます。
[アイコン表示]	ETCの利用準備が整っていることを表示するか設定できます。

MEMO



ア
リ

故障かな？と考える前に

本体関係	P.62
Wi-Fi接続関係	P.63
オーディオ関係	P.64
ハンズフリーフォン関係	P.69
Apple CarPlay関係	P.71
Android Auto 関係	P.72
MITSUBISHI CONNECT 関係	P.73
ETC関係	P.76

知っておいていただきたいこと

オーディオ	P.77
ハンズフリーフォン	P.79
現在地情報	P.80

本体関係

液晶モニター関係

症状	原因	処置方法
画面が暗い。	車内の温度が低温である。	車内の温度が適温になるまでお待ちください。
	車内の温度が高温である。	車内の温度が適温になるまでお待ちください。
	液晶モニターの設定が暗すぎる。	液晶モニターの明るさを調整してください。
画面が眩しい。	液晶モニターの設定が明るすぎる。	液晶モニターの明るさを調整してください。
画面の中に小さな黒点、輝点が現れる。	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
画像に、はん点や、シマ模様がでる。	ネオンサイン、高圧電線、アマチュア無線、他の自動車などからの電波を発する機器からの電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。
表示画面内容が残る。(残像現象)	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
低温のとき、画像の動きが遅い。	車内の温度が0℃以下になっている。	使用温度範囲(0℃～+50℃)に戻れば復帰します。
斜め方向から見ると画像が白っぽく見えたり、黒っぽく見える。	液晶モニターの特性である。	液晶モニターの明るさを調整してください。
画面が青くなったり、エラーメッセージが表示される。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。	

故障かな？と考える前に

Wi-Fi接続関係

症状	原因	処置方法
接続したいWi-Fi機器がWi-Fi画面に表示されない。	接続したい機器の電源がOFFになっている。	接続したい機器の電源をONにしてください。
	接続したい機器がWPA2方式のセキュリティに対応していない。	接続したい機器がWPA2/WPA3方式のセキュリティに対応しているか確認してください。
Wi-Fiに接続できない。	接続したい機器の電源がOFFになっている。	接続したい機器の電源をONにしてください。
	パスワードを間違えている。	入力したパスワードが正しいか確認してください。
	接続したい機器の通信状況が悪いまたは不安定になっている。	接続したい機器の通信状況を確認してください。

Wi-Fiスポット関係

症状	原因	処置方法
本機をWi-Fiスポットとして接続できない。	接続機器台数が上限に達している。	既に接続されている機器を1台削除してください。
	パスワードを間違えている。	入力したパスワードが正しいか確認してください。
インターネットに接続できない。	docomo in Car Connect★に登録されていない。	MITSUBISHI CONNECTのdocomo in Car Connect★への登録が必要です。詳しくはdocomo in Car Connectのお申し込みサイト https://docomo-icc.com/mitsubishiconnect/ をご覧ください。
	車両がdocomo in Car Connect★のサービスエリア外にある。	docomo in Car Connect★のサービスエリアに移動してください。
接続速度が遅い。	車内に他の無線機器があると、干渉することがある。	他の無線機器の電源をOFFにしてください。

オーディオ関係

Bluetooth®オーディオ関係

症状	原因	処置方法
登録できない。	パスキーが間違っている。	登録するBluetooth®オーディオ機器のパスキーをご確認ください。 Bluetooth®オーディオ機器のパスキーと、車載機のパスキーが一致しているかご確認ください。
	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
再生できない。	本機とオーディオ機器が接続できない。	ランチャーメニューの  をタッチして、Bluetooth®オーディオモードが選択されているか、ご確認ください。 オーディオ機器にBluetooth®アダプタをつけて使用する場合は、ランチャーメニューの  をタッチして、Bluetooth®オーディオモードを選択してから、Bluetooth®アダプタの電源をONにしてください。
	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
	音が停止する。	携帯電話の接続をしている。 MITSUBISHI CONNECT を使っている。 交通情報ダウンロードをしている。 Bluetooth®オーディオ機器本体を操作している。 本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
音が飛ぶ。	Bluetooth®オーディオ機器の置き場所によっては、音が飛ぶことがあります。	置き場所を変えてください。
	車内に他の無線機器があると、音が飛ぶことがあります。	他の無線機器の電源をOFFにしてください。
音質が悪い。	音楽データが低ビットレートでBluetooth®オーディオ機器に保存されている。	Bluetooth®オーディオ機器に保存するビットレートをより高レートに変更してください。
操作メニューが使用できない。	接続しているBluetooth®オーディオ機器によっては、使用できない操作があります。	オーディオ機器の取扱説明書で利用できる操作をご確認ください。

iPod関係

症状	原因	処置方法
iPod/iPhoneが認識されない。	コネクタケーブルが正しく接続されていないか、iPod/iPhoneが正しく動作していない。	コネクタケーブルを接続し直してください。それでもiPod/iPhoneが認識されない場合は、iPod/iPhoneをリセットしてください。
	使用しているiPod/iPhoneが、接続対応していない。	iPod/iPhoneの対応機種およびバージョンを確認してください。
	iOSが最新でない。	最新のiOSにバージョンアップしてください。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。
iPod/iPhoneをコントロールできない。	iPod/iPhoneにヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。	iPod/iPhoneを本機から一旦取り外し、iPod/iPhoneからすべての機器を取り外してから再度接続し直してください。
	iPod/iPhoneが正しく動作していない。	iPod/iPhoneを本機から一旦取り外し、iPod/iPhoneをリセットしてから再度接続し直してください。
	特定のアルバムアートが存在するアルバム／曲を再生した。	iPod/iPhoneを本機から一旦取り外し、iPod/iPhoneをリセットしてください。あわせて対象のアルバムアートを使用しない状態で再度接続し直してください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
曲再生の音が途切れる。	iPod/iPhoneの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPod/iPhoneが転がらないよう、車内にしっかりと取り付けし直してください。
音が歪む。	iPod/iPhoneのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをおすすめします。
iPod/iPhoneの充電ができない。	iPod/iPhoneを接続するケーブルが断線している可能性がある。	ケーブルをご確認ください。
本機に接続すると、iPod/iPhoneの操作ができなくなる。	—	本機と接続中は、iPod/iPhoneの操作はシステム側から行ってください。
音飛びする。	周辺環境（ノイズなど）により、音が飛ぶことがある。	故障ではありません。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。

USB接続関係

症状	原因	処置方法
USB機器を認識しない。	USB専用ケーブルが正しく接続されていない。	USB専用ケーブルの接続状態を確認してください。
	USB延長ケーブルを使用している。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	HUBを使用している。	HUBを使用しないでください。
	使っているUSB機器が、接続対応していない。	USB機器の仕様を確認してください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。

地上デジタルテレビ関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
電源を入れても映像がすぐに出ない。	ソフトウェアが起動中である。	故障ではありません。本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。
乱れた映像になるまたは特定のチャンネルで映像が乱れる。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。	
映像も音声も出ない。	地上デジタルチューナーユニットが異常高温になった。 車の場所や方向が悪い。	車内の温度を下げた後、電源を入れ直してください。 アンテナレベルを確認してください。[ワンセグ／フルセグ切替]の設定を確認して、「フルセグ」の場合はそれ以外の設定に切り替えてください。 👉 <u>テレビの設定をする (P.37)</u>
映像や音声がでない。 (または、ときどき出なくなる) 映像が静止する。 (または、ときどき静止する)	車の場所や方向が悪い。	ワンセグ放送視聴中に、受信状態により黒画面になることがありますが、故障ではありません。[ワンセグ／フルセグ切替]の設定を確認して、「フルセグ」の場合はそれ以外の設定に切り替えてください。 👉 <u>テレビの設定をする (P.37)</u>
	車両の搭載機器（ワイパー、電動ドアミラー、パワーウインドー、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機など）の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下した。	故障ではありません。
	自動車／バイク／高圧線／ネオンサインなどの近くを車が通過し、アンテナレベルが低下した。	故障ではありません。
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリアにいない。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。故障ではありません。
	「自宅エリア／おでかけエリア」の設定が適切でない。	「自宅エリア」と「おでかけエリア」設定を切り替えてください。
チャンネルリストに数字が表示される。	放送局名のない受信局をリストに登録している。	故障ではありません。

故障かな？と考える前に

■ 地上デジタルテレビのメッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。

主なメッセージとその内容は下記のとおりです。



メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されていません。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

ハンズフリーフォン関係

適合機種、初期登録手順については、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

症状	原因	処置方法
携帯電話の接続を認識しない。 発信または着信できない。	適合していない携帯電話を使用している。	適合携帯電話機種をご確認ください。
	携帯電話にダイヤルロックなどの操作制限が設定されている。	携帯電話のダイヤルロックなどの操作制限を解除してからBluetooth®接続してください。
特定の電話番号に発信できない。	同じ番号への発信の際、特定の事象（相手が電話に出ない場合、相手が圏外の場合、相手が出る前に切断した場合）が一定の回数繰り返され、その番号への発信ができなくなる場合がある。	携帯電話の電源を一旦OFFにし、再度ONにして接続し直してください。
Bluetooth®の機器登録ができない。	携帯電話がBluetooth®に対応していない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Bluetooth®に対応した携帯電話機種をご利用ください。 ● 適合携帯電話機種をご確認ください。
	Bluetooth®の機器登録手順に誤りがある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。 ● Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。
Bluetooth®の機器登録をしたのにもかかわらず、接続されない、もしくは、切断される。	本機のBluetooth®がOFFになっている。	本機のBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のBluetooth®がOFFになっている。	携帯電話のBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のバッテリー残量が十分ではない。	携帯電話のバッテリー残量が十分な状態をご利用ください。
	携帯電話の置き場所によって、Bluetooth®の電波状況が悪くなることもある。	携帯電話を金属で覆われた場所や本機から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の間に密着させないでください。
	Bluetooth®の機器登録手順を完了していない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。 ● 各Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。

故障かな？と考える前に

症状	原因	処置方法
相手に声が伝わらない。 通話相手側で音が割れたり、途切れたりする。	携帯電話とBluetooth®接続されていない。	携帯電話をBluetooth®接続してください。
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓やサンルーフを閉じてください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音の少ないところで操作してください。
	受話／送話音量が大きすぎる。	受話／送話音量を調節してください。
Bluetooth®接続でのハンズフリー通話時、音が切れたり、ノイズが入る。	携帯電話の置き場所によっては、Bluetooth®の電波状況が悪くなることもある。	携帯電話を金属で覆われた場所や本機から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の間密着させないでください。
	車内に他の無線機がある。	他の無線機の電源をOFFにしてください。
携帯電話操作で発信するとハンズフリー機能が使えない。	機種によっては、携帯電話から発信操作するとハンズフリーに切り替えられない場合があります。	本機のハンズフリー機能から、発信し直してください。
呼び出し音、着信音などと音声の音量が違う。	呼び出し音、着信音などの音量が調整されていない。	着信音または受話音は、その音が出ているときにコントロールパネルの<  /VOL>ダイヤルまたはステアリングスイッチの<  >ボタンで調整してください。送話音は設定画面の送話音量メニューで調整してください。
電話画面と携帯電話機の電界受信バーの本数が違う。 電話画面に受信バーが表示されている状態で発信しても電話がつかない。	電界受信バーの本数の基準が携帯電話機と異なる。	電話画面の電池残量と電界強度表示（バー表示）は一致しないことがあります。目安としてご利用ください。

Apple CarPlay関係

症状	処置方法
Apple CarPlayが起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 iPhoneに付属のUSBケーブル（またはMfi認証ケーブル）を使用し、破損していないことを確認する。 iPhone側のApple CarPlayの設定をONにする。 Apple CarPlayに対応したiPhoneを使用する。 iPhone側のSiriの設定をONにする。
ワイヤレスで接続時Apple CarPlayが起動しない。	登録したiPhoneを削除し、再度接続する。 iPhone側のBluetooth®設定から本機の登録を解除して再度接続する。 位置情報サービスの設定をONにし、再度接続する。 🔄 すべての設定メニューについて (P.13)
Apple CarPlayの作動不良： 動きが遅い、アプリの立ち上がりが遅い、Apple CarPlay機能にアクセス時にエラーメッセージが表示される、地図を表示しようとしたら真っ白、など。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 iPhoneに付属のUSBケーブル（またはMfi認証ケーブル）を使用し、破損していないことを確認する。 iPhoneの契約データプランを確認する。 iPhone側の性能、通信状況を確認。接続し直してみる。 iPhone側の性能、通信状況を確認。iPhoneの電源をOFFにし、再度ONにしてみる。
ステアリングスイッチの < 🗺️ > ボタンを押してもSiriが起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。 iPhone側のSiriの設定がONであることを確認する。 ステアリングスイッチの < 🗺️ > ボタンを確実に長押しする。

Android Auto 関係

症状	処置方法
Android Auto が起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。
	Android スマートフォンに付属のUSBケーブルを使用し、破損していないことを確認する。
	Android スマートフォン側のAndroid Auto の設定をONにする。
	Android Auto に対応したAndroid スマートフォンを使用する。 登録したAndroid スマートフォンを削除し、再度接続する。
ワイヤレスで接続時Android Auto が起動しない。	登録したAndroid スマートフォンを削除し、再度接続する。
	Android スマートフォン側のBluetooth®設定から本機の登録を解除して再度接続する。
	位置情報サービスの設定をONにし、再度接続する。 ➡ すべての設定メニューについて (P.13)
Android Auto の作動不良： 動きが遅い、アプリの立ち上がりが遅い、 Android Auto 機能にアクセス時にエラーメッセージが表示される、地図を表示しようとしたら真っ白、など。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。
	Android スマートフォンに付属のUSBケーブルを使用し、破損していないことを確認する。
	Android スマートフォンの契約データプランを確認する。
	Android スマートフォン側の性能、通信状況を確認。接続し直してみる。
	Android スマートフォン側の性能、通信状況を確認。Android スマートフォンの電源をOFFにし、再度ONにしてみる。
ステアリングスイッチの < ④ > ボタンを押してもGoogle アシスタントが起動しない。	USBケーブルをUSBポートにしっかりと差し直す。
	Android スマートフォン側のGoogle アシスタントの設定がONであることを確認する。
	ステアリングスイッチの < ④ > ボタンを確実に長押しする。

MITSUBISHI CONNECT 関係

症状	原因	処置方法
情報センターに接続できない。	MITSUBISHI CONNECT のお申し込みをしていない。	MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みを行ってください。詳しくは、当社専用Webサイトをご確認ください。 https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/
	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
	電波が届きにくい場所にいる。	電波が届きやすい場所へ移動すると、通信できるようになります。画面に表示されているアイコンが圏内表示になるとお使いいただけます。
	車載通信ユニット（Telematics Control Unit）の電源が入っていない。	電波が届きやすい場所でもアイコンが圏内表示にならない場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
サービスご利用時、通常の音声電話に比べて、サービスエリアが狭くなったり、つながりにくいことがある。	情報センターとの通信にデータ通信モードを使用している。	故障ではありません。しばらく時間をおいてから再度通信してください。
メニュー画面にある項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
オペレータをご利用時、音声途切れる。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある。	故障ではありません。しばらく時間をおいてから再度通信してください。
情報が音声で読み上げられない。	音量調整が最小になっている。	音量を調整してください。

MITSUBISHI CONNECT メッセージ表示一覧

本機では、状況に合わせてメッセージが表示されます。

メッセージ	原因	対処方法
サービスをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です	MITSUBISHI CONNECT のお申し込みをしていない。	MITSUBISHI CONNECT へのお申し込みを行ってください。詳しくは、当社専用Webサイトをご確認ください。 https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/connect/
圏外です	電波が届きにくい場所にいる。	電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。画面に表示されているアイコンが圏内表示になるとお使いいただけます。
回線使用中です	通信回線使用中である。（自動通信が発生しています。）	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
ただいま混み合っています	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
ただいま接続できません	通信回線が混雑している。 通信回線が切断された。 通信回線に接続できない。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。しばらく時間をおいても同じメッセージが繰り返し表示される場合は、三菱自動車販売会社へお問い合わせください。
ただいま接続できません (ID:02)	車載通信ユニット（Telematics Control Unit）が接続されていないか、認識できていない、または故障している。	三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

スマートフォンアプリ

症状	原因	対処方法
スマートフォンアプリが使えない。	ユーザーIDとパスワードが本機に登録されていない。	本機にユーザーIDとパスワードを登録してください。
	ユーザーIDまたはパスワードを間違えている。	スマートフォンアプリでユーザーIDまたはパスワードを変更した場合は、本機にユーザーIDとパスワードを再登録してください。 ➡ MITSUBISHI CONNECT ユーザーIDおよびパスワードの入力 (P.23)
	2週間以上車を使用していない。	MITSUBISHI CONNECT 問い合わせサポートにお問い合わせください。 電源ポジションをONにしてください。
	電波が届きにくい場所に駐車している。	車を電波が届きやすい場所に移動すると、通信できるようになります。
本機またはスマートフォンアプリにメッセージが表示される。	強制的にログアウトされた。	本機とスマートフォンアプリにユーザーIDとパスワードを再登録してください。

ETC関係

症状	処置方法
ディスプレイに「ETCに異常が発生しています ETCサービスが利用できません 販売店に連絡し てください。」と表示された。	ETCカードが挿入されている場合は、カードを抜き取ってください。 [OK]を選んで通常の画面に移行させます。その後は、すみやかに三菱自動車販売会 社で点検を受けてください。
ディスプレイに「ETCカードが読み取れません ETCサービスが利用できませんのでカードを抜い て、確認してください」と表示された。	カードを抜き取り、ETCカードであるか、カードを挿入する向き、表裏は正しいか、 を確認してください。
ディスプレイに「料金 0円」と表示された。 (年月日、時刻表示はなし)	ETCカードの端子（金色部分）の傷、汚れなどにより、料金所通過時に課金はされ たものの、履歴情報が記録されない場合があります。左記画面表示が出ます。このよ うな場合は、ETCカードの端子部を確認してください。
ディスプレイに「No.2」と表示された。 (上記表示は一例であり、数字部分は02～07の 間が出る可能性あり)	料金所通過時に、ETCユニット内部で何らかの異常が偶発的に発生した場合に、異 常内容に該当する数字が左のように表示されます（一定時間で表示は消えます）。こ のような表示が頻繁に出る場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
利用履歴の確認ができない。	ETCカード挿入後、認識に2秒程度、時間がかかります。画面にETCアイコンが表 示され、「ETCカードを確認しました。」と案内があった後に、再度利用履歴の確認 を行ってください。

オーディオ

USBについて

■ 再生可能メディア

メディア	USB2.0 (32GB以内)
システム	FAT16、FAT32
フォルダ階層、ファイル数	フォルダ階層: 8、フォルダごとのファイル数: 255、フォルダ数: 512 (ルートフォルダを含む)、総ファイル: 8,000
タグ情報 (曲名、アーティスト名、アルバム名)	ID3 tag VER1.0、VER1.1、VER2.2、VER2.3、VER2.4 (MP3のみ) AAC tag (AACのみ)

■ オーディオファイル

フォーマット			サンプリング周波数	ビットレート
MP3 *1	MPEG1	Layer-3	32、44.1、48 kHz	32~320 kbps
	MPEG2		16、22.05、24 kHz	8~160 kbps
AAC (MPEG4) *2 (ファイル拡張子 "m4a" のみ)			11,025、16、22.05、32、44.1、48 kHz	8~320 kbps
FLAC			8~192 kHz	128~12,288 kbps
Wav			8~192 kHz	128~12,288 kbps

*1: MPEG2.5 には対応していません。

*2: iTunesでエンコードしたAACのみ再生可能です。HE-AAC (High-Efficiency) には対応していません。

知っておいていただきたいこと

■ ビデオファイル

規格	拡張子
MPEG-2	.mpg, .mpeg, .mp4
MPEG-4	.mp4, .m4v, .3gp
H.264	.mp4, .m4v
WMV9/VC-1	.wmv, .avi

知識

- 複数のパーテーションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- 条件に当てはまらないUSBメモリを使用すると、正しく動作しないことがあります。

地上デジタルテレビについて

■ 製造メーカーについて

本地上デジタルチューナーは、三菱自動車株式会社向けにRobert Bosch Car Multimedia GmbHが開発・製造しています。

■ フルセグ放送

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

■ ワンセグ放送

フルセグに加え、ワンセグにも対応しています。

また、フルセグ⇄ワンセグへの自動切り替えまたは手動切り替えにより、受信エリアが拡大します。

知識

- 本機は、双方向データサービスに対応しておりません。
- 本機はワンセグのデータ放送には対応しておりません。
- 番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。

■ ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、またマクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ 用語解説

データ放送：

お客さまが見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客さまのお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

3桁チャンネルと物理チャンネル：

● 3桁チャンネル

地上デジタル放送では1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる3桁のチャンネルが設定されています。3桁のうち最初の2桁は放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）、最後の1桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。

● 物理チャンネル

物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）が異なります。

知っておいていただきたいこと

ハンズフリーフォン

ご使用上の注意

- ハンズフリーフォンをご使用になるときは、必ず本システムに携帯電話を接続してください。
- 12Vバッテリーあがり防止のため、エンジンを始動した状態で使用してください。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種については、三菱自動車販売会社にお問い合わせいただくか、『デリカミニ』車種サイトからご確認ください。
- 以下の場合には、ハンズフリーフォンを使用できません。
 - ー 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
 - ー トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 以下の機能が設定されているとハンズフリーフォンが使用できません。設定を解除してください。（機能の解除方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください）
 - ー ダイヤルロック、オートロック、オールロック、セルフモード
 - ー その他、発着信を制限、もしくは禁止する機能
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機（レーダー探知機）を搭載していると、スピードカーから雑音が出ることがあります。
 - デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりすることがあります。
 - 携帯電話の電波状態が悪いときや、高速で走行しているとき、窓を開けているとき、エアコンファンの音が大きいときなどは、通話中のお互いの声が聞こえにくいことがあります。
 - 電源ポジションをONにした直後は、電話の着信を受けることができません。
 - ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作（着信拒否、転送も含む）はしないでください。誤作動をする場合があります。
 - Apple CarPlayまたはAndroid Auto が起動している間は、他の携帯電話のハンズフリーフォン機能は使用できません。
- ### ■ 故障、サービスなどについて
- 万一、ハンズフリーフォン機能が故障したときは、お買い上げいただいた三菱自動車販売会社にご相談ください。

Bluetooth®電話機について

Bluetooth®電話機は、無線（Bluetooth®）で通信を行うことのできる電話機です。ケーブルで接続しなくても本機との通信ができるため、例えば胸ポケットに電話を入れたままでもハンズフリーフォンとして使用することができます。

- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置いたり、シートや身体の間に着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常より携帯電話の電池の消耗が早くなります。
- Bluetooth®オーディオ使用時にハンズフリーフォンを使用すると、Bluetooth®オーディオは一時停止します。
- 放送局や他の無線機器が近くにある場合は、正常に接続できないことがあります。
- ペースメーカーなどの電子医療機器に影響を与える可能性がある場合は、Bluetooth®接続を「OFF」に設定してください。
- Bluetooth®機器とWi-Fi機器は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下、雑音の発生、接続不能になる場合があります。この場合は、お近くのWi-Fi機器の電源をお切りください。



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Robert Bosch GmbHはライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

知っておいていただきたいこと

現在地情報

本機は、車からの情報（車速・ジャイロセンサー）と、人工衛星からの情報（GPS）を組み合わせて現在の自車がいる位置を計算します。

知識

- GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。
- GPS衛星からの電波を受信しても測位に時間がかかる場合があります。

現在地の補正

GPS受信精度が高いとき、車速・ジャイロセンサーなどから求めた位置の精度が低いとシステムが判断すると、GPSでの現在地補正が行われます。

現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。

故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。

以下のような場所では、電波がささぎられて受信できなくなることがあります。

- トンネルの中やビルの駐車場
- 2層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群集地帯
- 密集した樹木の間など

現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。

- 近くに似た形状の道路がある所の走行

- 碁盤目上の道路の走行
- 緩やかなV字路の走行
- 直線や緩やかなカーブの長距離走行
- S字の連続する道路の走行
- ループ橋などの走行
- 雪道、砂利道などの走行
- 旋回、切り返しを繰り返したとき
- 電源ポジションをOFFにしてターンテーブルなどで旋回したとき
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などの走行

知識

- 車両が停車しているときは、GPSによる位置修正は行われません。
- 電源ポジションをONにしてすぐ車を動かしたときも自車マークの向きがずれることがあります。
- サイズ違いのタイヤやタイヤチェーンの装着などでも、現在地がずれることがあります。
- GPSの室内取り付けアンテナはダッシュボード内に設置されているため、ダッシュボード上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。衛星の電波の強度はテレビ放送電波の10億分の1程度ですので、感度が低下したり、受信できなくなることがあります。

- A**
- AM (ラジオ) P.28
 - Android Auto
 - Android Auto P.57
 - Android スマートフォンを接続する P.57
 - Google アシスタント P.58
 - Apple CarPlay
 - Apple CarPlay P.55
 - iPhoneを接続する P.55
 - Siri P.56
- B**
- Bluetooth (携帯電話)
 - Bluetooth (携帯電話) P.40
 - ON/OFF P.17
 - 初期登録 P.17
 - 設定 P.43
 - 電話機の切り替え P.17
 - パスキー P.17
 - Bluetoothオーディオ
 - Bluetoothオーディオ P.33
 - オーディオ機器の切り替え P.17
 - 設定 P.17
 - 登録 P.17
- C**
- CarPlay P.55
- F**
- FM (ラジオ) P.28
- G**
- Google アシスタント P.58
 - GPS情報 P.52
- H**
- HDMI P.33
- I**
- iPhone P.55
 - iPod P.32
- M**
- MITSUBISHI CONNECT
 - MITSUBISHI CONNECT P.46
 - MITSUBISHI CONNECT サービス
 - メニュー P.48
 - 問い合わせサポート P.48
- S**
- Siri P.56
 - SMS
 - 受信する P.42
 - 送信する P.42
- T**
- TV P.35
- U**
- USB
 - USBポート P.9
- W**
- Wi-Fiスポット画面 P.19
- ア**
- アプリメニューについて P.52
- オ**
- オーディオ
 - HDMI接続機器を使う P.33
 - 交通情報をきく P.29
 - 設定 P.26
 - 操作画面 P.31
 - テレビを見る P.35
 - ラジオ P.28
 - 音量を調整する P.20
- カ**
- ガイド音量 P.20
 - 画面
 - 画質を調整する P.20
- キ**
- 機器接続画面
 - Wi-Fi画面 P.19

機器接続画面	P.16
登録機器画面	P.17

ケ

携帯電話	
音量を設定する	P.40
携帯電話の接続をする	P.17
ステアリングスイッチ	P.9
通話中画面の見かた	P.41
電話メニュー画面	P.40
電話を受ける	P.41
ハンズフリーフォンの設定をする	P.43
メッセージ機能を使う	P.42
消す	
画面	P.20

コ

交通情報	P.29, P.59
故障かな?と考える前に	
Android Auto 関係	P.72
Apple CarPlay関係	P.71
MITSUBISHI CONNECT 関係	P.73
オーディオ関係	P.64
ハンズフリーフォン関係	P.69
Wi-Fi接続関係	P.63
コントロールパネル	P.8

シ

受信	
SMS (ショートメッセージ)	P.42
ショートメール	P.42
初期設定をする	
Bluetooth携帯電話機	P.17
MITSUBISHI CONNECT	P.23

ス

スイッチ	
コントロールパネル	P.8
ステアリングスイッチ	P.9

セ

接続	
Android Auto	P.57
Apple CarPlay	P.55
Bluetooth機器	P.17
携帯電話機を接続する	P.17
設定	
Bluetooth	P.17
オーディオ	P.26
テレビ	P.37
時計	P.20
ハンズフリーフォン	P.43
設定メニュー	P.13

ソ

操作音の調整	P.20
操作画面	
USBメモリ	P.31
テレビ	P.35
電話	P.40
挿入口	
HDMI	P.33
USB	P.9

チ

地上デジタルテレビ	P.35
着信 (電話)	P.41
調整する	
音量	P.20
画質	P.20

テ

テレビ	P.35
電話	
SMS機能を使う	P.42
音量を設定する	P.40
ステアリングスイッチ	P.9
通話中画面の見かた	P.41
電話	P.40
電話機を接続する・つなぐ	P.17
電話メニュー画面	P.40
電話を受ける	P.41
ハンズフリーフォンの設定をする	P.43

ト

登録する	
Bluetooth	P.17
携帯電話	P.17
時計を設定する	P.20

ハ

パスキー	P.17
ハンズフリーフォン	
接続する	P.17
ハンズフリーフォン	P.40

フ

プリセット	P.29
Bluetooth	P.17

メ

メッセージ	P.42
メニュー	
アプリメニュー	P.52
設定メニュー	P.13

メニュー画面P.11

ク

ユーザーIDおよびパスワードの入力P.23

ユーザー情報の登録、設定P.13

ラ

ラジオP.28

MEMO